

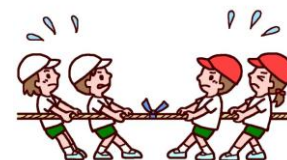
「幼稚部保護者の方々からのメッセージ」

9月15日の幼稚部運動会には、たくさんの保護者の方、ご家族の方にご来場いただき、ありがとうございました。今週は、幼稚部保護者の方々からのメッセージをご紹介します。

九月十五日、秋晴れの空の下、とは残念ながらいきませんでした。心配された雨も止み、幼稚部運動会が開催されました。開会式ぎりぎりまで忙しく準備をして下さった、校長先生をはじめ、教頭先生、幼稚部の先生方、執行部の方々のおかげです。

娘は、運動会を心待ちにしていただけに、朝の突然の雨にはショックを受けており、日本語学校に向かう車中、“グラウンドがぐちゃぐちゃかもしれないね。運動会は来週かもね。”という私の言葉に、涙しながら、“絶対にやるからね”と言い続けていました。噂には聞いていましたが、校長、教頭先生の＜晴れ男パワー＞はすごいです。

紅白帽子をかぶり、先生の指示に従い、一列に並んで歩く姿や、競技に取り組む姿を見て、娘の成長を感じ、親として頼もしく思いました。紅白に分かれて、大きな声で応援する様子も、とても微笑ましかったです。年少の時は、よく分からずに綱引きの綱を握っていた娘でしたが、今年は力一杯に綱を引っ張っていました。



結果は赤組の勝利でしたが、みんなの笑顔に、気が付けば空は秋晴れでした。参加賞で頂いたメダルを首から下げて、全員が金メダリストでしたね。

運動会開催に際し、ご尽力下さいましたたくさんの方々に、お礼申し上げます。

我が家は小学部に一人、幼稚部に二人の子供たちが通い、今年で六年目になります。どこの家庭でも皆さん、大変な思いをして継続されていると思うのですが、我が家でも土曜日の朝からバタバタとし、全員が車に乗り込むまで息つく暇もありません。こんな時、「何でこんな思いまでして日本語学校にかようのかな？」という思いがよぎります。でも、Medford High Schoolに近づいてくると、今週も無事に来ることができてよかった、とほっとし、他の生徒の皆さんの姿を拝見して、やる気のスイッチが入ります。

授業が終わり、お迎えに行くと、うれしそうな、なんだか満足げな表情を浮かべている子供たちを見ると、「今日も来て良かったね」と言いたくなります。日本語学校が終わっても午後の活動があり、息つく暇がないのですが、帰りの車中で、子供たちは先を争って、日本語学校での出来事を話してくれます。嵐のような土曜日の日ですが、子供たちにとって、かけがえのない充実した一日であると信じて、親としてがんばっています。将来、「続けてきて良かったよ」と子供たちが思ってくれたらどんなにいいことでしょうか。ただ、今はまたやってくる土曜日に向かって一週間を走るだけです。



9月15日。早朝に激しい雨が降り、開催があやぶまれる中、幼稚部の運動会が行われました。日本語学校に心配しながらも到着してみると、運動会のために綺麗に飾り付けされた会場が目飛び込み、息子には嬉しそうな笑顔が広がっていきました。

年長となった息子にとっては3回目の、そして最後の幼稚部での運動会です。年少の時には、自分の横から一足先に走り始めたお友達を見て、はじめて競技の趣旨に気づいたような息子も、年長になった今年は「ぼくは速いからね。30メートル走は絶対に勝つよ。」と言って張り切って参加していました。勝ち負けまでも意識しながら参加する様になった息子の姿に、幼稚部での成長をみることができました。

お友達と走る、踊る、応援する、そして競技に目的を持って臨むなど、日本の運動会の中には、子供達の成長を見届ける要素が沢山詰まっているのだなとも、感じる事ができました。また、米国在住にも関わらず、このような機会に接することができたことに感謝しました。

息子も、来年からは小学部での運動会に参加します。また成長した子供の姿が見られる事が、今から楽しみです。



メッセージを執筆いただいた保護者の皆様、どうもありがとうございました！